

Antenna House PDF Driver V5.0 利用ガイド

目次

1.	「Antenna House PDF Driver 5.0」について.....	1
1.1.	製品概要.....	1
1.2.	動作環境.....	1
1.3.	本マニュアルについて.....	1
2.	制限事項について.....	2
3.	PDF ファイルの作成方法.....	4
4.	Antenna House PDF Driver 設定.....	6
4.1.	印刷設定画面の表示方法.....	6
4.2.	各種設定.....	7
4.3.	各設定項目の説明.....	8
4.3.1.	一般.....	8
4.3.2.	圧縮.....	11
4.3.3.	フォント.....	13
4.3.4.	セキュリティ.....	15
4.3.5.	透かし.....	18
4.3.6.	開き方.....	20
4.3.7.	情報.....	22
4.3.8.	バージョン.....	23
5.	アドインボタン.....	24
5.1.	対応アプリケーション.....	24
5.2.	アドインボタンの登録と解除.....	24
5.3.	各アプリケーションでの設定.....	25
5.3.1.	Word の設定.....	25
5.3.2.	Excel の設定.....	29
5.3.3.	PowerPoint の設定.....	31
5.4.	アドインの制限事項について.....	32
6.	PDF/A-1b について.....	33
7.	商標と著作権情報.....	34
7.1.	商標.....	34
7.2.	著作権.....	34

1. 「Antenna House PDF Driver 5.0」について

1.1. 製品概要

「Antenna House PDF Driver 5.0」をご利用いただきありがとうございます。

本ドライバは、普通のプリンターと同様にアプリケーションから印刷することにより ISO 3200-1 準拠の PDF ファイルを作成する仮想プリンタドライバです。

作成される PDF ファイルは、閲覧用パスワードを設定して、パスワードを知らない人が閲覧できないようにすること、あるいは権限設定を行って、印刷を禁止すること、内容のコピー&ペーストを禁止することなどの設定も可能です。

また、画像のダウンサンプリング、PDF の開き方の設定なども指定することができます。

1.2. 動作環境

「Antenna House PDF Driver 5.0」は以下の動作環境でご使用いただけます。

オペレーティングシステム (OS) *	Microsoft® Windows XP Professional / Home Edition (SP3) (32bit) Microsoft® Windows XP Professional (SP2) (64bit) Microsoft® Windows Vista Ultimate / Business / Home Premium / Home Basic (SP1 以降) (32bit/64bit) Microsoft® Windows 7 Home Premium / Professional / Enterprise / Home Basic / Starter / Ultimate (32bit/64bit) Microsoft® Windows Server 2003 (SP1 以降)/ 2003 R2 (32bit/64bit) Microsoft® Windows Server 2008 (32bit/64bit) Microsoft® Windows Server 2008 R2 (64bit) いずれも日本語版
パソコン本体	利用する OS が動作するパソコン
メモリ	利用する OS の推奨容量以上であることをお勧めします。
ディスク容量	上記 OS が必要とするサイズに加えて 60MB 以上の空き容量が必要

XP(64bit)、Server 2003(64bit)を使用される場合は、以下の Microsoft のサイトをご確認の上、更新プログラムを適用してください。

<http://support.microsoft.com/kb/930627/en-jp>

PDF の作成には、PDF ファイルの元となるファイルを印刷することができるアプリケーションが必要です。また、PDF の閲覧には Adobe® Reader®(6.0 以上)、Adobe® Acrobat® Reader®(4.0 以上)、または Adobe® Acrobat® (4.0 以上)が必要です。

1.3. 本マニュアルについて

本マニュアルでは、「Antenna House PDF Driver」のすべての機能について説明しています。

他社製品にバンドルされているなど一部の製品では、Office アドイン機能、PDF/A-1b の出力機能を実装しておりませんので、ご了承ください。

2. 制限事項について

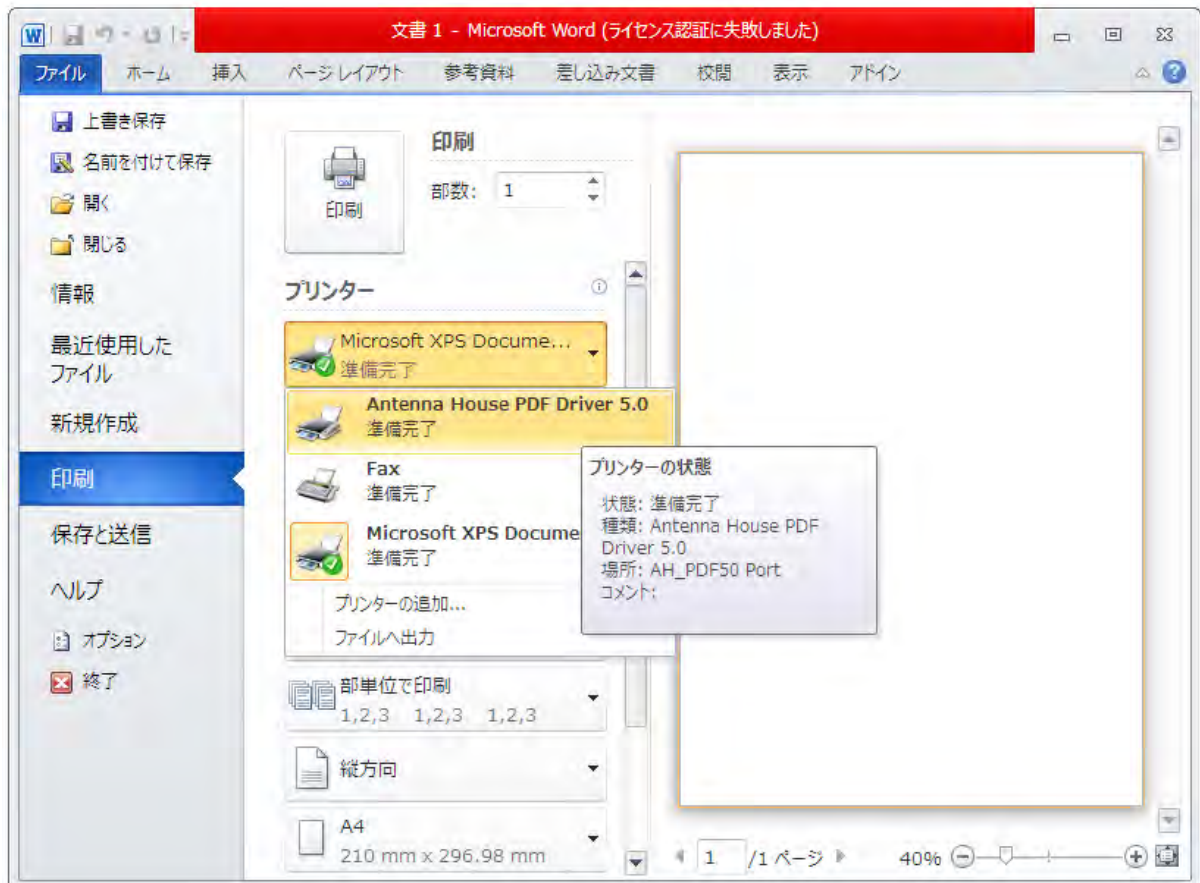
- 本製品は印刷機能を持つすべてのアプリケーションで使用することができますが、動作環境やアプリケーションの仕様などにより、正常に PDF が作成できない場合があります。動作確認を行っているソフトウェアは下記の通りです。
 - Microsoft Word 2003 / 2007 / 2010 日本語版
 - Microsoft Excel 2003 / 2007 / 2010 日本語版
 - Microsoft PowerPoint 2003 / 2007 / 2010 日本語版
- 本製品は、ネットワークプリンターとしてご利用いただくことはできません。
- TrueType、OpenType、Type1 フォントに対応しておりますが、Windows で使用可能なフォント以外につきましては保証対象外とします。また、フォントの仕様に沿っていないフォントについても同じく保証対象外とします。
 - TrueType フォント
TrueType フォントファイルは.TTF または.TTC の拡張子を持ちます。
 - OpenType フォント
OpenType フォントファイルは.TTF または.OTF の拡張子を持ちます。
前者は TrueType アウトライン情報が、また後者は、PostScript アウトライン情報が、フォントファイルに含まれます。
 - Adobe Type1 フォント
Windows で使用される場合、.PFM+.PFB フォントファイルのペアになります。
- Microsoft Office で設定した透過度、グラデーションが PDF に正常に反映されないことがあります。
- 「Antenna House PDF Driver 5.0」のプリンター名を変更しないでください。Word / Excel / PowerPoint のアドイン変換が正しく動作しなくなります。
- PowerPoint において、スライドに塗りつぶしの背景が設定されている場合、最背面に指定された透かしは表示されません。背景がページを覆うパスとして PDF に変換され、透かしがこのパスの背面に配置されるためです。
- PowerPoint 2007 上のアドインボタンを使用して PowerPoint 文書を PDF 出力すると、「修正できない問題が見つかりました。プレゼンテーションを保存して PowerPoint を終了し、再起動してください。」というエラーメッセージが出てしまうことがあります。これはアドインの出力の設定で「リンクを出力する」のチェックを外すと PDF 出力が可能になることがありますので、再度お試しください。

- 64bit バージョンの Windows を実行しているコンピュータで 32bit アプリケーションからドキュメントを印刷するために raw モードを使用すると、DEVMODE データ構造のプライベートデータが破損する可能性があります。詳細は、以下を参照して、サービスパックの適応をしてください。
<http://support.microsoft.com/kb/930627/en-jp>
- Excel 2007、Excel 2010 において、シートの「ページ設定」で「拡大縮小印刷」の設定があり 100%ではない設定(拡大あるいは縮小されている)のとき、「印刷」で「Antenna House PDF Driver」が選択されている状態で「保存と送信」の「PDF/XPS ドキュメントの作成」(Office2010 の場合のメニュー名)から PDF を作成すると、「拡大縮小印刷」設定が反映されません。
- 縦書きフォントの一部の文字・記号が回転されて表示される場合があります。
- 印刷を行うアプリケーションにより、名前を付けて保存ダイアログを表示中にシステムがビジー状態になる場合があります。回避するには、インストールフォルダの「comdlgcom.exe」のファイル名を変更してください。

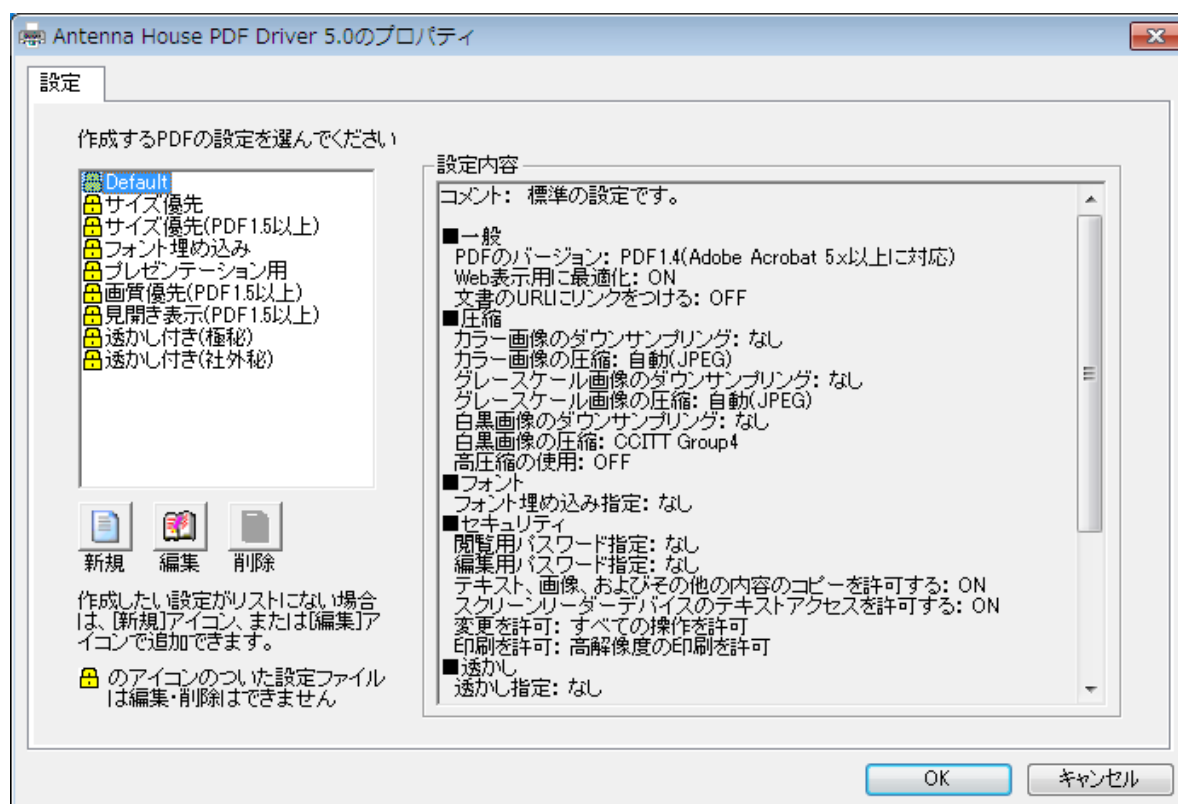
3. PDF ファイルの作成方法

PDF 作成は、ご使用のアプリケーションから「印刷」する場合とほぼ同様の操作となります。ここでは Microsoft Office Word 2010 を使用して説明します。

メニュー [ファイル] [印刷] を選択し、[プリンター] で [Antenna House PDF Driver 5.0] を選択します。



必要に応じて、作成する PDF の条件設定を行います。 の画面にて [プリンターのプロパティ] をクリックすると、以下の画面が開きます。



左側に列挙されている設定リストから設定を選択し、[OK]をクリックします。本製品では、設定を編集して名前を付けて保存し、次の出力時に使用することもできるようになっています。詳しい設定編集方法については「[4. Antenna House PDF Driver 設定](#)」をご覧ください。

[印刷] ダイアログに戻りますので、[印刷] をクリックします。

4. Antenna House PDF Driver 設定

「Antenna House PDF Driver」では、各種アプリケーションから、「印刷」と同様の操作で PDF を作成しますが、このときにどのような PDF を作成するかについて、いくつかの設定を行うことができます。たとえば、「パスワードを設定して、一般の人に閲覧できないようにする」、「フォントを埋め込み、フォントを持っていない人のパソコンでも正しい書体で表示できるようにする」、あるいは「画像の画質を落としてサイズの小さな PDF にする」といったことが選択できます。

ここではこの「設定」について説明します。

4.1. 印刷設定画面の表示方法

プリンターのプロパティや、Windows のスタートメニューに登録される[Antenna House PDF Driver 5.0] - [PDF 出力の設定]から、印刷設定画面を表示させることができます。

印刷設定画面において、任意の設定項目名を選択し、「新規」ボタンをクリックすると新規作成用として設定項目画面が開きます。「編集」ボタンをクリックすると、選択した設定項目を編集モードとして開きます。設定項目名上でダブルクリックした場合は、編集モードとして開きます。

4.2. 各種設定

「Antenna House PDF Driver」では、以下に記載する「一般」,「圧縮」,「フォント」,「セキュリティ」,「透かし」,「開き方」,「情報」の 7 種類の分類で各種の設定を行うことができます。ここで設定した内容に名前をつけて設定ファイルとして保存することができます。以降、この設定ファイルの名前を指定することにより、この画面からの選択のみで、設定の切り替えができるようになります。

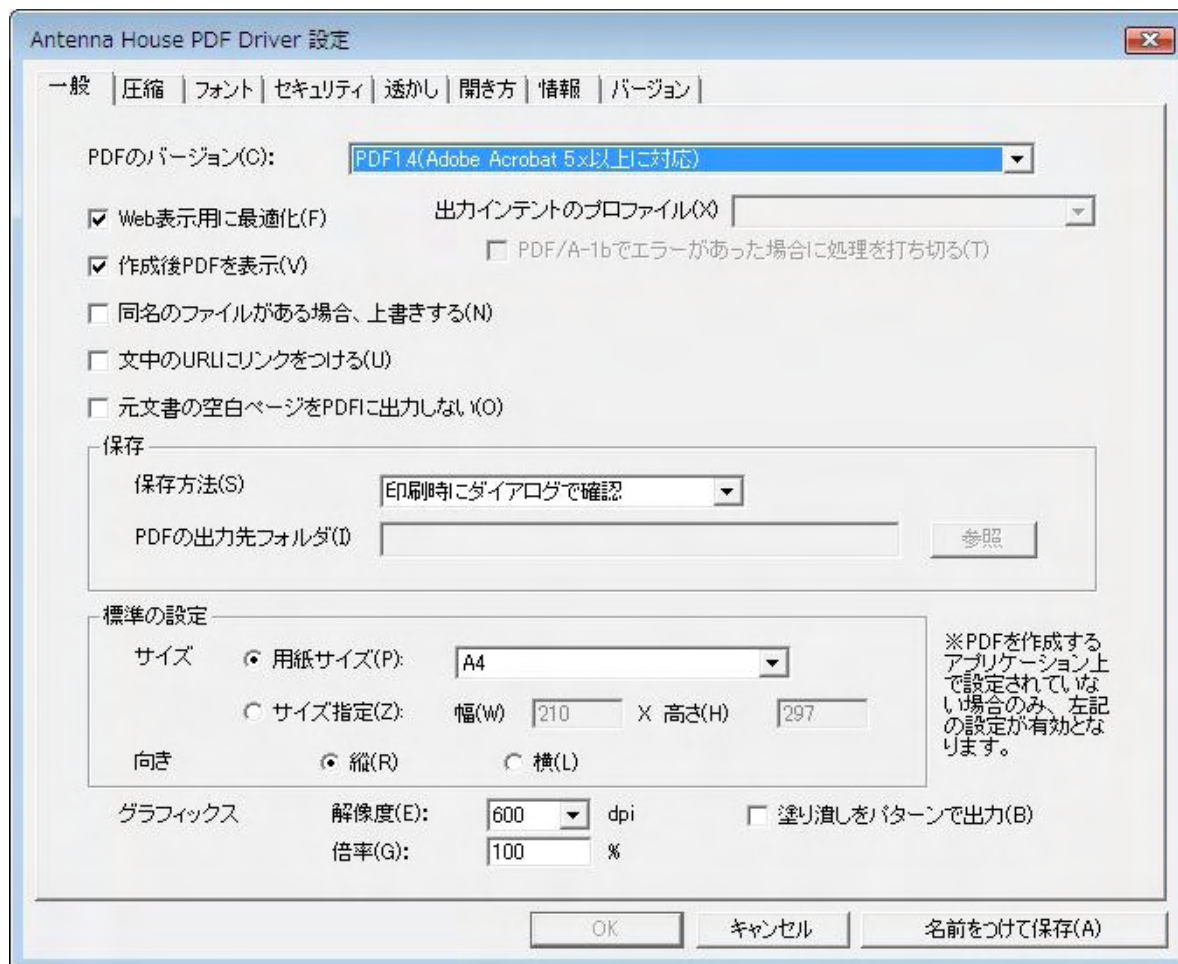
「Antenna House PDF Driver」にはあらかじめ以下の 9 種類の設定ファイルが用意されています。

設定名	設定内容
Default	フォントの埋め込みを行わず、画像は自動 (JPEG) 圧縮を使用します。
サイズ優先	個々の画像について、ダウンサンプリングを行った後、ZLIB (ZIP) 圧縮、JPEG 圧縮の双方を試み、サイズの小さいものを選択します (このため、処理速度が遅くなります)。
サイズ優先 (PDF1.5 以上)	サイズの小さな PDF ファイルを作成します。出力に時間がかかる場合があります。またフォントの埋め込みは行いません。Acrobat/Adobe Reader 6.0 以上で表示できます。
フォント埋め込み	埋め込み可能なすべてのフォントを埋め込みます。他は Default の設定に同じです。
プレゼンテーション用	プレゼンテーション用に Adobe Reader で全画面表示される PDF を作成します。
画質優先 (PDF1.5 以上)	画像の画質を優先します。ファイルサイズが大きくなる場合があります。Acrobat/Adobe Reader 6.0 以上で表示できます。
見開き表示 (PDF1.5 以上)	2 ページの見開きで表示される設定です。Acrobat/Adobe Reader 6.0 以上で表示できます。
透かし付き (極秘)	用紙最前面に赤い文字で「極秘」の表示を付加します。
透かし付き (社外秘)	用紙背面对角線上に青い文字で「社外秘」の表示を付加します。

この 9 種類の設定ファイルは設定画面では鍵のアイコンが付いて表示されます。この表示のある設定は変更することはできません。

4.3. 各設定項目の説明

4.3.1. 一般



- PDF のバージョン

互換性のある形式として、「PDF1.7」、「PDF1.6」、「PDF1.5」、「PDF1.4」、「PDF1.3」、「PDF/A-1b:2005」が選択できます。PDF1.5はAcrobat 6.0、Adobe Reader 6.0以上で閲覧することができます。通常、これを選択しておけば問題ないでしょう。PDF1.3を選択した場合、Acrobat Reader 4.0以上で表示できるPDFファイルを作成しますが、Microsoft Officeのオートシェイプの半透明などが正しく表示できない場合があります。

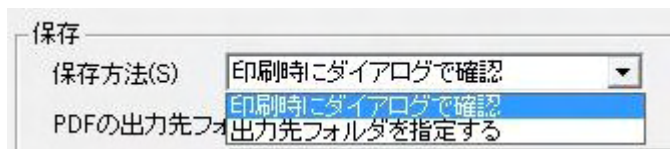
- 出力インデックスのプロファイル

PDFのバージョン指定で「PDF/A-1b:2005」が選択された場合に選択できます。選択可能なプロファイルは、動作環境の次の場所と条件に一致するものです。

場所：C:\WINDOWS\system32\pool\drivers\color

条件：拡張子が「icc」または「icm」 / カラー空間が「RGB」または「CMYK」

- PDF/A-1b でエラーがあった場合に処理を打ち切る
 フォントがすべて埋め込めないなど、「PDF/A-1b:2005」の仕様に準拠しない出力時に処理を打ち切ります。
- Web 表示用に最適化
 PDF を Web 表示用に最適化（リニアライズ）して出力します。
- 作成後 PDF を表示
 PDF の作成が完了後、PDF を開きます。Adobe Reader など、PDF に関連付けされているアプリケーションを起動します。
- 同名のファイルがある場合、上書きする
 PDF の保存時、既存のファイル名が指定された場合、通常は「上書きしますか?」という問い合わせダイアログが表示されますが、これが設定されている場合、このダイアログを表示することなく、上書きを行い PDF ファイルを作成します。
- 文中の URL にリンクをつける
 PDF を作成する元ファイル内に、http://、https:// で始まる文字列を検出した場合に、作成する PDF にリンクを設定します。URL 文字列内で、改行がある場合、あるいは、文字間が離れている場合等、正しく設定できないことがあります。
- 元文書の空白ページを PDF に出力しない
 元文書が Word、Excel、一太郎であった場合に、その文書内にある空白ページを PDF に出力しません。
 「Antenna House PDF Driver」で言う空白ページとは、Word/一太郎では、「改行/空白以外の文字、画像、オートシェイプ、表、ヘッダ/フッタ、ページ番号、改ページ」のいずれもないページのことを指します。Excel では、ページ範囲内に「図形/画像、改行/空白以外の文字、罫線/色の設定、ヘッダ/フッタ、ページ番号」のいずれもない状態のことを指します。
 アドインボタンから PDF 出力するときはこの機能を使用した場合、しおりやリンクの飛び先が正常に機能しなくなることがあります。
- 保存方法

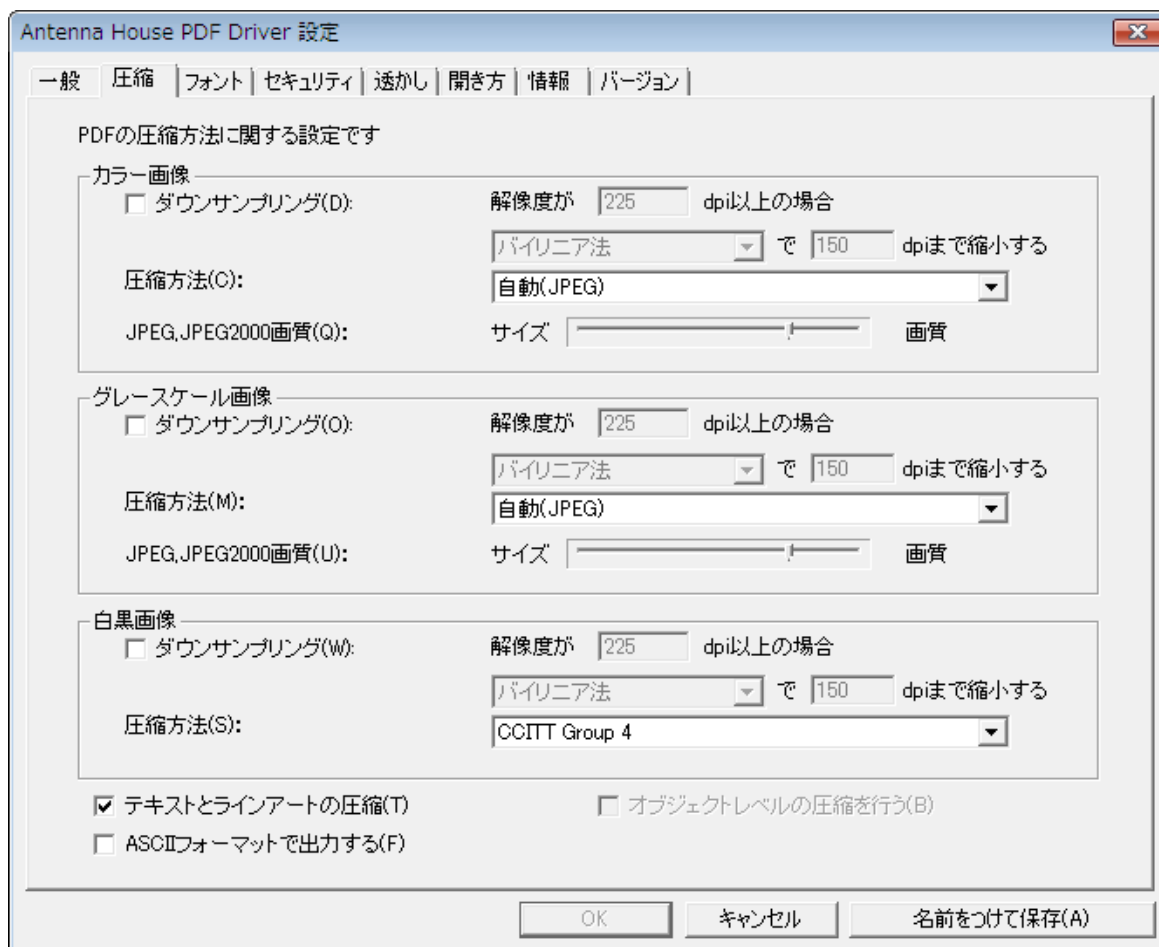


PDF の作成時に保存先を毎回ダイアログで問い合わせたり、自動で決まった出力先フォルダに保存したりするように設定することができます。

「印刷時にダイアログで確認」を選択すると、PDF を作成するたびに保存先を問い合わせるダイアログが表示されます。「出力先フォルダを指定する」を選択すると、「PDF Driver 出力先フォルダ」で指定された出力先に PDF を自動で出力します。

- PDF Driver 出力先フォルダ
「保存方法」で「出力先フォルダを指定する」を選択したときに使用する出力先フォルダを指定します。「参照」ボタンをクリックして出力先フォルダを指定してください。テキストボックスに直接出力先パスを入力することもできます。
- 標準の設定
テキストなど、用紙サイズの設定が無いアプリケーションから PDF を作成する場合に用紙のサイズおよび方向を設定することができます。
- グラフィックス
グラフィックスの解像度と、倍率を指定することができます。
- 塗り潰しをパターンで出力
塗りつぶしを透明属性で出力せずに、ハッチングパターンで出力します。

4.3.2. 圧縮



通常の PDF 出力では、グレースケール画像、白黒画像に対しても、ここで「カラー画像」に対して設定した内容が適用されます。透かしとしてグレースケール画像、白黒画像の画像ファイルが指定された場合に、「グレースケール画像」、「白黒画像」の設定内容がそれぞれの画像に適用されます。

- **ダウンスAMPLING**

ダウンスAMPLINGを行う場合、先頭のチェックボックスをチェックし、ダウンスAMPLING対象とする画像の解像度の下限、ダウンスAMPLING方法、ダウンスAMPLING後の解像度を指定します。ダウンスAMPLING方法は、「バイリニア法」、「ニアレストネイバー法」、「バイキュービック法」の 3 種類から選択できます。それぞれ、リサンプルした領域の平均の色、中央の色、加重平均による色を使用するものとなります。通常、最も処理時間がかかりますが、バイキュービック法を指定すればよいでしょう。

- **圧縮方法**

JPEG :

「JPEG、JPEG2000 画質」で画質を選択することができます。ファイルサイズに関係なく画質を優先する、画質を落としてファイルサイズを小さくする、といった選択ができます。

写真などが含まれるデータの場合、これを選択すると良いでしょう。

ZLIB(ZIP) :

画質の劣化がありません。Microsoft Office のオートシェイプ図形、あるいはパソコン画面のスクリーンキャプチャなどの画像が主に含まれるファイルではこちらを選択すると良いでしょう。

自動(JPEG) :

各画像について、上記の JPEG(指定の画質にて)、ZLIB(ZIP)双方の圧縮を行い、サイズが小さいほうの形式を選択します。このため、処理速度は遅くなります。写真画像や、スクリーンキャプチャなどの両方の画像を含むファイルで、サイズを小さくしたい場合はこれを選択すると良いでしょう。

JPEG2000 :

「一般」タブの「PDF のバージョン」において「PDF1.5」以上を選択している場合のみ有効となります。JPEG 同様、画質を指定することができます。ファイルサイズに関係なく画質を優先する、画質を落としてファイルサイズを小さくする、という選択ができます。一般に JPEG と比較して、画質を維持したまま、サイズを小さくすることができます。

自動(JPEG2000) :

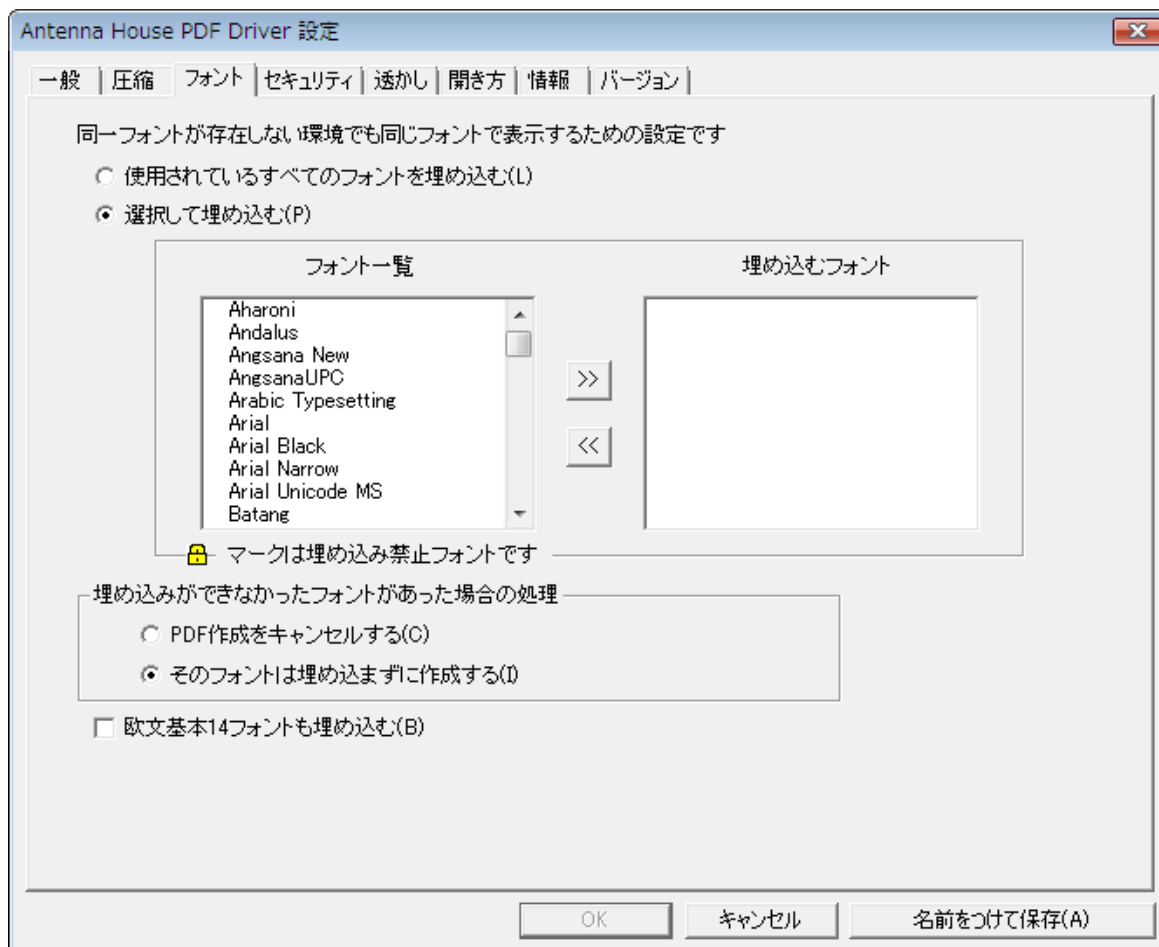
「一般」タブの「PDF のバージョン」において「PDF1.5」以上を選択している場合のみ有効となります。JPEG2000(指定の画質にて)、ZLIB(ZIP)双方の圧縮を行い、サイズが小さいほうの形式を選択します。

白黒画像の場合 :

None(圧縮無し)、CCITT Group 3、CCITT Group 4、Run Length、ZLIB(ZIP)から選択することができます。いずれも画質の劣化はありません。

- JPEG,JPEG2000 画質
JPEG または JPEG2000 で画像を圧縮する場合に、画質を優先するか、サイズを小さくするかを指定してください。
- テキストとラインアートの圧縮
PDF 内のテキストやグラフィック部分に対応するデータを ZLIB(ZIP)圧縮するか否かを指定します。通常、チェックをつけておきます。
- ASCII フォーマットで出力する
画像データ、あるいは圧縮されたテキストなどの PDF 内のバイナリデータ部を ASCII フォーマットで出力します。通常はチェックを外して使用してください。
- オブジェクトレベルの圧縮を行う
PDF1.5 で用意された機能を使用して圧縮率を改善し、ファイルサイズを縮小します。「一般」タブの「PDF のバージョン」において「PDF1.5」以上を選択しているときに有効です。

4.3.3. フォント



PDF にフォントを埋め込んでおくことにより、埋め込んだフォントの分だけファイルサイズは大きくなりますが、使用されているフォントが存在しない環境でその PDF を開いた場合も、フォントが存在する環境と同じ書体で表示できるようになります。

本ドライバでは、TrueType/OpenType のシンボリックフォント（「Symbol」「Wingdings」など）、「Arial Unicode MS」フォントなど、フォントによって、ここでの指定の有無にかかわらず、自動で埋め込み処理を行う場合があります。

- 使用されているすべてのフォントを埋め込む
文書に使用されているすべてのフォント情報を PDF に埋め込みます。
- 選択して埋め込む
「フォント一覧」には、お使いの Windows システムにインストールされているフォントが表示されます。ここから埋め込みを行うフォントを選択して右矢印ボタン (>>) をクリックしてください。右側の「埋め込むフォント」欄にそのフォントが表示されます。ここに表示されているフォントが、作成するファイル内に使用されていた場合、埋め込みが行われます。なお、フォントメーカーが埋め込みを禁止しているフォントも存在します。このようなフォントは埋め込みを行いません。このダイアログではフォント名の先頭に鍵のマークが表示され

ます。そのようなフォントの埋め込みは指定できません。

- 埋め込みができなかったフォントがあった場合の処理

PDF 作成をキャンセルする：

埋め込み禁止フォントがファイル内で使用されていた場合、PDF ファイルの作成を中止します。

そのフォントは埋め込まずに作成する：

埋め込み禁止フォントがファイル内で使用されていた場合、そのフォントの埋め込みは行わずに、PDF を作成します。

- 欧文基本 14 フォントも埋め込む

PDF には標準 14 フォントと呼ばれる、埋め込みをしていない場合でも、各種ビューアアプリケーションでフォントの有無にかかわらず正しく表示される Type1 フォントが存在します。これらのフォントが作成する PDF 内に存在した場合、通常、指定にかかわらず、埋め込み処理は行いませんが、他のフォント同様に、埋め込みを行う必要がある場合は、このチェックボックスをチェックして、そのフォントの埋め込みを指定してください。

通常のご使用では、このチェックボックスは OFF のままで構いません。Windows XP、Windows Server 2003 ではこれに該当するフォントは添付されておりません。

4.3.4. セキュリティ

出力される PDF にセキュリティを設定します。

セキュリティ設定は、PDF を使用するアプリケーションによっては無視される場合があります。

「一般」タブの「PDF のバージョン」で選択されている PDF バージョンにより、設定できる内容や暗号化の種類が異なります。

PDF バージョンと暗号化の種類：

PDF のバージョン	暗号化の種類
1.3	40bit RC4
1.4 / 1.5	128bit RC4
1.6 / 1.7	128bit AES

「PDF のバージョン」が「PDF1.4」以上の場合：

Antenna House PDF Driver 設定

一般 | 圧縮 | フォント | **セキュリティ** | 透かし | 開き方 | 情報 | バージョン

パスワードをかける、改ざん不可能にするなどのセキュリティを設定します

閲覧用パスワード(U):

編集用パスワード(M):

許可

テキスト、画像、およびその他の内容のコピーを許可する(C)

スクリーンリーダーデバイスのテキストアクセスを許可する(音声読み上げを許可する)(V)

変更を許可(H):

印刷を許可(P):

※ PDF 1.6仕様以上で出力する場合、AES暗号化方式になります。

OK キャンセル 名前をつけて保存(A)

「PDF のバージョン」で「PDF1.3」の場合：

共通の設定

- 閲覧用パスワード

閲覧用パスワードを指定して作成した PDF ファイルは、PDF ファイルを開くときに Adobe Reader からパスワードの問い合わせダイアログが表示され、ユーザパスワードを入力しないと閲覧することができない PDF となります。

指定する場合は先頭のチェックボックスをチェックし、32 文字までのパスワードを入力してください。また、半角の英数字、記号を使用してください。

- 編集用パスワード

印刷や変更を禁止したい場合、下部の「許可」で必要な設定を行ってください。この場合、編集用パスワードも合わせて設定を行ってください。このパスワードを指定することで、これらの権限設定の変更にパスワード入力が必要となり、各種の許可条件の変更を抑止できません。

閲覧用パスワード同様、指定する場合は先頭のチェックボックスをチェックし、32 文字までのパスワードを入力してください。また、半角の英数字、記号を使用してください。

なお、2 種類のパスワードには、異なったパスワードを指定する必要があります。

「PDF1.4」以上の場合

- テキスト、画像、およびその他の内容のコピーを許可する
PDF 文書の内容を選択してコピーができる PDF を作成します。
- スクリーンリーダデバイスのテキストアクセスを許可する
スクリーンリーダを使用して読み取りができる PDF を出力します。
- 変更を許可
PDF の編集操作に対する許可を設定します。それぞれ、以下の PDF が作成されます。
「許可しない」: 署名の追加、フォームフィールドへの入力などを含むすべての変更を禁止します。
「ページの挿入、削除、回転を許可」: ページの挿入、削除、および回転、しおりとサムネールの作成が許可されます。
「フォームフィールドの入力と署名を許可」: フォームフィールドの入力と署名が許可されます。
「注釈の作成、フォームフィールドの入力と署名を許可」: フォームフィールドの入力と署名、および注釈の追加が許可されます。
「ページの抽出を除くすべての操作を許可」: ページの抽出以外の変更が許可されます。
「すべての操作を許可」: 上記のすべての操作を許可する場合に指定してください。
- 印刷を許可
PDF の印刷品質を指定します。
「許可しない」: Adobe Reader で印刷することのできない PDF を作成します。
「低解像度の印刷を許可」: Adobe Reader で印刷する場合に、解像度が 150dpi に制限される PDF を作成します。
「高解像度の印刷を許可」: Adobe Reader で任意の解像度での印刷が選択できる PDF を作成します。

PDF1.3 の場合

- 許可
出力される PDF に権限の許可を与えない項目のチェックボックスにチェックを付けます。

4.3.5. 透かし



- 図

画像の透かしを挿入する場合は、「図」を選択し、図の選択ボタンをクリックして表示されるダイアログから、画像ファイルを指定してください。

なお、使用する画像ファイルは、本製品をインストールしたフォルダの下に作成される Pictures フォルダにあらかじめ格納しておく必要があります。BMP、JPEG、GIF、TIFF、PNG の各種画像形式の他に PDF が選択可能です。事前に作成して、上記のフォルダに格納しておいてください。

Pictures フォルダはデフォルトのインストールでは以下の場所に用意されています。

C:¥Program Files¥Antenna¥PDF Driver 5.0¥Pictures

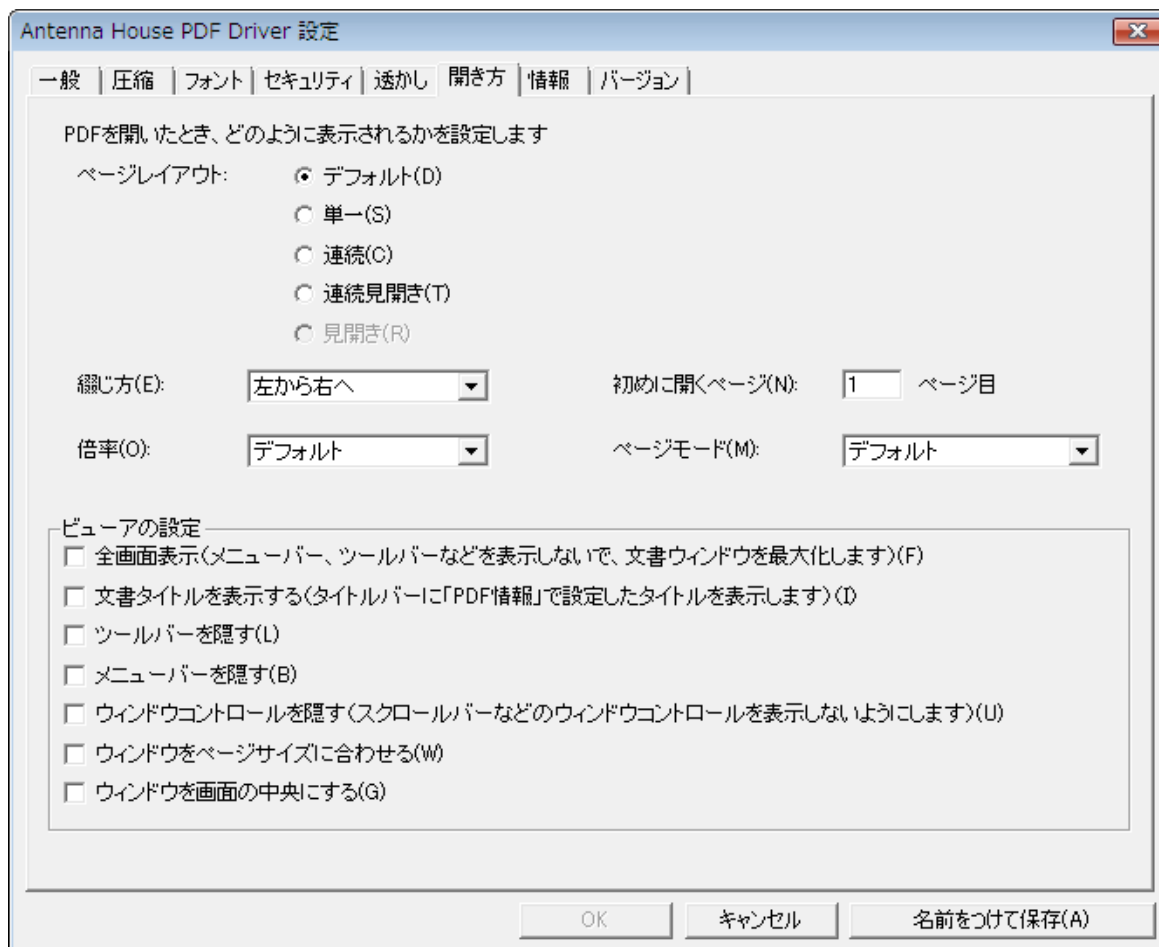
透かしに PDF を指定した場合、透かしとして使用されるのは PDF の先頭ページです。

出力する PDF より高いバージョンの PDF を透かしに設定した場合、出力時に以下のエラーメッセージが出力されます。



- **テキスト**
テキストの透かしを挿入する場合、「テキスト」を選択してください。文字列、フォント、サイズ、色を指定します。水平方向に文字が配置されますが、対角線上に配置したい場合は、「対角線上にする」にチェックを入れてください。
- **レイアウト**
透かしを格納する位置を指定することができます。
- **配置**
挿入する透かしを本文の前面(本文より手前)に置くか、本文の背面(本文の奥)のいずれに置くかを指定します。
- **透明度**
PDF の半透明機能を使用して、挿入する透かしの透明度を設定します。
「一般」タブの「PDF のバージョン」において「PDF1.3」を指定している場合は、設定できません。
- **表示方法オプション**
透かしを印刷時に出力するか、表示時に出力するかの指定をすることができます。

4.3.6. 開き方



- ページレイアウト

ページの配置を以下から指定します。

デフォルト : Adobe Reader 側の設定に従います。

単一 : 一度に文書の 1 ページ分を表示します。

連続 : ページを縦に連続して表示します。

連続見開き : 2 ページを横に並べ、縦に連続して表示します。

見開き : 2 ページを横に並べ、一度に文書の 2 ページ分を表示します。

「一般」タブの「PDF のバージョン」において「PDF1.5」以上を選択している場合に有効です。

- 綴じ方

「右綴じ」とするか「左綴じ」とするかを指定します。

前項で「見開きページ」を選択した場合の表示時に偶数ページ、奇数ページの配置が変わります。

- 倍率
 - ページをどのように表示するかを以下から指定します。
 - デフォルト : Adobe Reader 側の設定に従います。
 - 全体表示 : ページ全体がウィンドウに収まるような倍率で表示します。
 - 幅に合わせる : ページの横幅がウィンドウに収まるような倍率で表示します。
 - 高さに合わせる : ページの高さがウィンドウに収まるような倍率で表示します。

- 初めに開くページ
 - ファイルを開いた場合に表示するページを指定します。
 - 指定したページが存在しない場合、先頭ページとなります。

- ページモード
 - ページのほかに、初期表示するパネルを指定します。
 - デフォルト : 指定を行いません。
 - ページのみ : しおりパネルなどが閉じられた状態で、ページのみが表示されます。
 - しおりパネルとページ : しおりパネルが開いた状態で表示されます。
 - ページパネルとページ : ページパネルが開いた状態で表示されます。

- ビューアの設定
 - 全画面表示 :
文書ウィンドウを最大化します。メニューバー、ツールバー、ウィンドウコントロールは表示されません。

 - 文書タイトルを表示する :
Adobe Reader のタイトルバーに「情報」で設定したタイトルが表示されます。これを指定しない場合、ファイル名が表示されます。「一般」タブの「PDF のバージョン」において「PDF1.4」以上を選択しているときに有効です。

 - ツールバーを隠す :
ツールバーを表示しないように設定します。

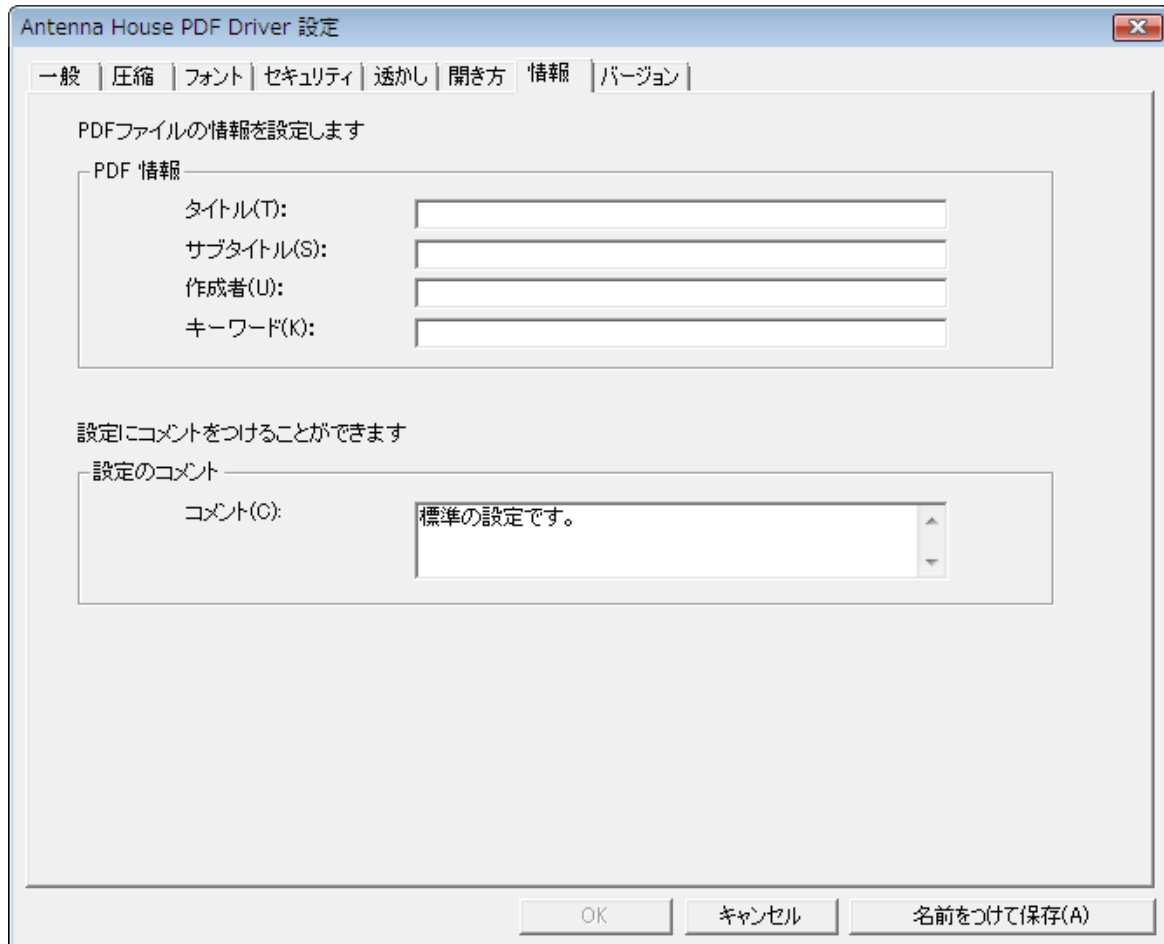
 - メニューバーを隠す :
メニューバーを表示しないように設定します。

 - ウィンドウコントロールを隠す :
スクロールバーなどのウィンドウコントロールを表示しないように設定します。

 - ウィンドウをページサイズに合わせる :
開いたページに合わせて、文書ウィンドウのサイズが調整されるように設定します。

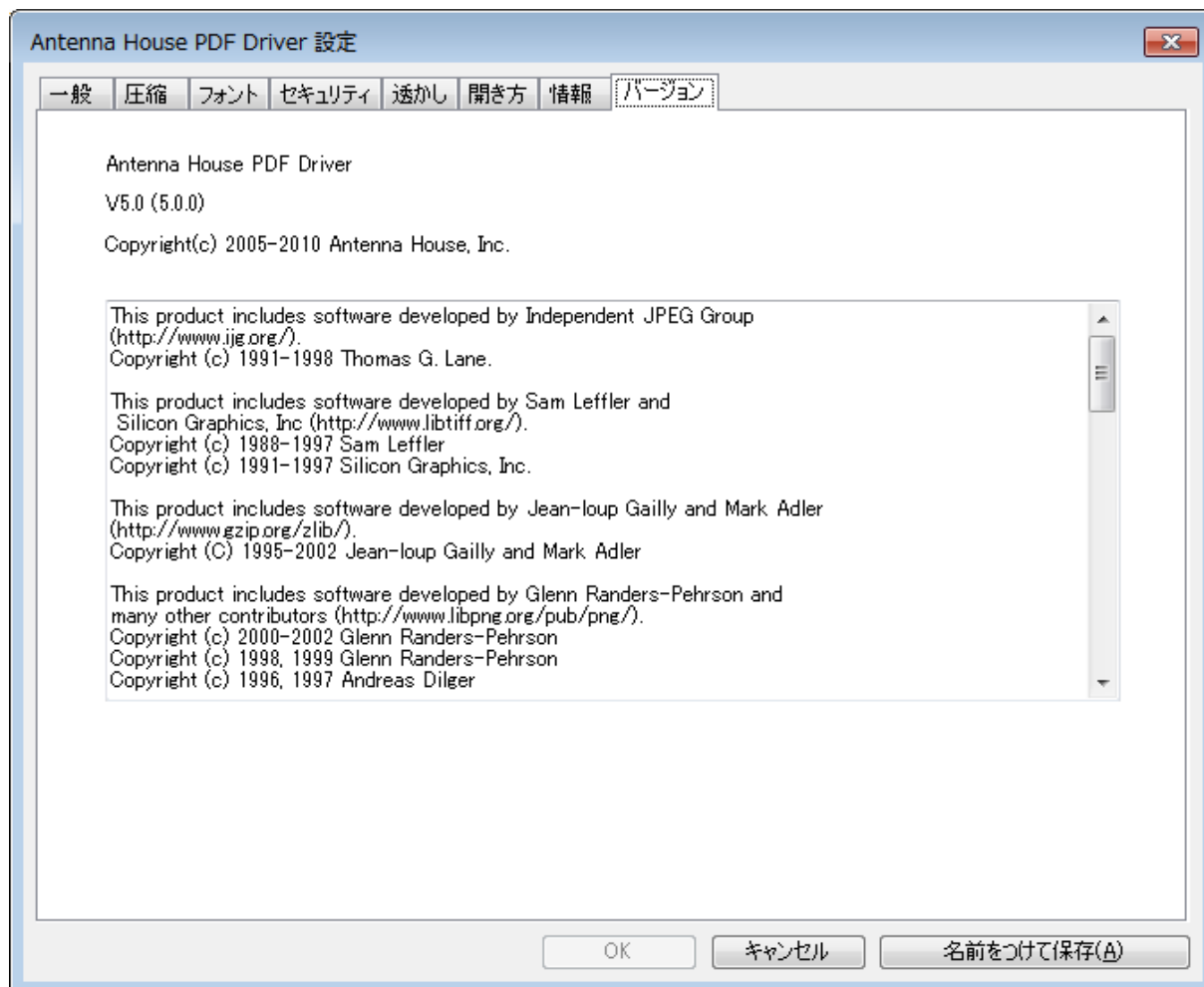
ウィンドウを画面の中央にする：
ウィンドウが画面領域の中央に配置されるように設定します。

4.3.7. 情報



- PDF 情報
PDF に格納する文書情報として、タイトル、サブタイトル、作成者、キーワードを指定することができます。
文書情報の各項目において設定可能な文字数の上限は、半角英数字で 255 文字（2 バイト文字の場合は 127 文字）までです。
Microsoft Office などこれらに相当する情報を持つファイルがありますが、「Antenna House PDF Driver」でこれらの情報を PDF に格納するには、このダイアログに情報を入力しておく必要があります。
- 設定のコメント
設定ファイルの内容に関する説明を付けることができます。この内容は、印刷設定ダイアログの設定ファイルの選択時に表示されます。コメントの内容は、出力する PDF には影響を与えません。

4.3.8. バージョン



本製品のバージョンなどに関する情報を表示します。

5. アドインボタン

「Antenna House PDF Driver」では、Microsoft Word、Excel、PowerPoint で作成したファイルを、アドインボタンを使用することで文書作成元のアプリケーションから簡単に PDF ファイルを作成できます。また、このアドインボタンを使用して PDF 出力することで、変換元ファイルに含まれているリンクやしおり等が PDF ファイルに反映されます。V5.0 では、Word のアウトラインもしおりに変換できるようになりました。

ここでは、その設定について説明します。

5.1. 対応アプリケーション

アドインが対応しているアプリケーションは次のとおりです。

Microsoft Word 2003(SP3) / 2007(SP2 以降) / 2010(32bit / 64bit) 日本語版

Microsoft Excel 2003(SP3) / 2007(SP2 以降) / 2010(32bit / 64bit) 日本語版

Microsoft PowerPoint 2003(SP3) / 2007(SP2 以降) / 2010(32bit / 64bit) 日本語版

5.2. アドインボタンの登録と解除

「Antenna House PDF Driver」のインストール後、アドインボタンの登録と解除は、Windows のスタート プログラムメニューから操作できます。

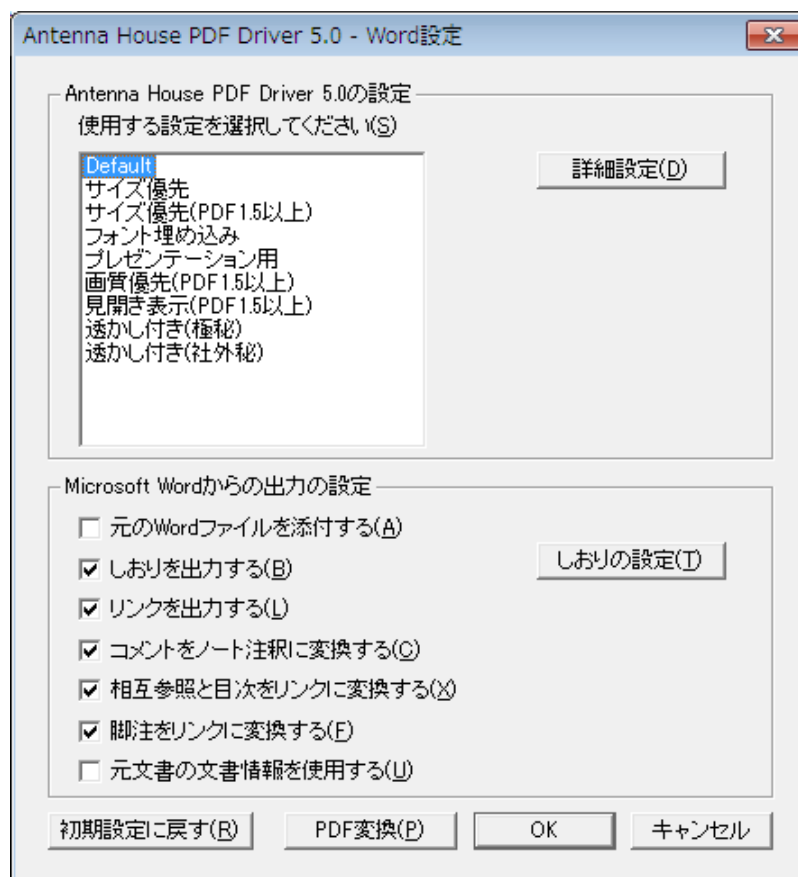
登録：[Antenna House PDF Driver 5.0] - [Office アドイン登録]

解除：[Antenna House PDF Driver 5.0] - [Office アドイン解除]

Windows Vista 以降においては、管理者権限 (Administrator 権限) のユーザーがアドインボタンの登録や解除を実行すると、「ユーザー アカウント制御」ダイアログが表示されることがあります。表示された場合は、「許可」を選択してお進みください。管理者権限以外のグループのユーザーで実行した場合には、管理者権限を持ったユーザー名とパスワードを入力する必要があります。

5.3. 各アプリケーションでの設定

5.3.1. Word の設定



- Antenna House PDF Driver 5.0 の設定
ここから「Antenna House PDF Driver」の設定ファイルを選択してください。
「詳細設定」をクリックすると、「Antenna House PDF Driver」の設定ダイアログが表示されます。
- Microsoft Word からの出力の設定
元の Word ファイルを添付する：
変換元の Word ファイルが添付ファイルとして、PDF ファイルに添付されます。

しおりを出力する：
Word の見出しやスタイルが、Acrobat のしおりに変換されます。

リンクを出力する：
変換元文書で使用されているハイパーリンク（外部ファイルへのリンク、ウェブページへのリンク、ドキュメント内のリンク、電子メールアドレス）が、PDF ファイルに反映されます。

コメントをノート注釈に変換する：

変換元文書で使用されているコメントが、ノート注釈として PDF ファイルに反映されます。

相互参照と目次をリンクに変換する：

変換元文書で使用されている相互参照や目次が、リンクとして PDF ファイルに反映されます。

脚注をリンクに変換する：

変換元文書で使用されている脚注への参照が、リンクとして PDF ファイルに反映されます。

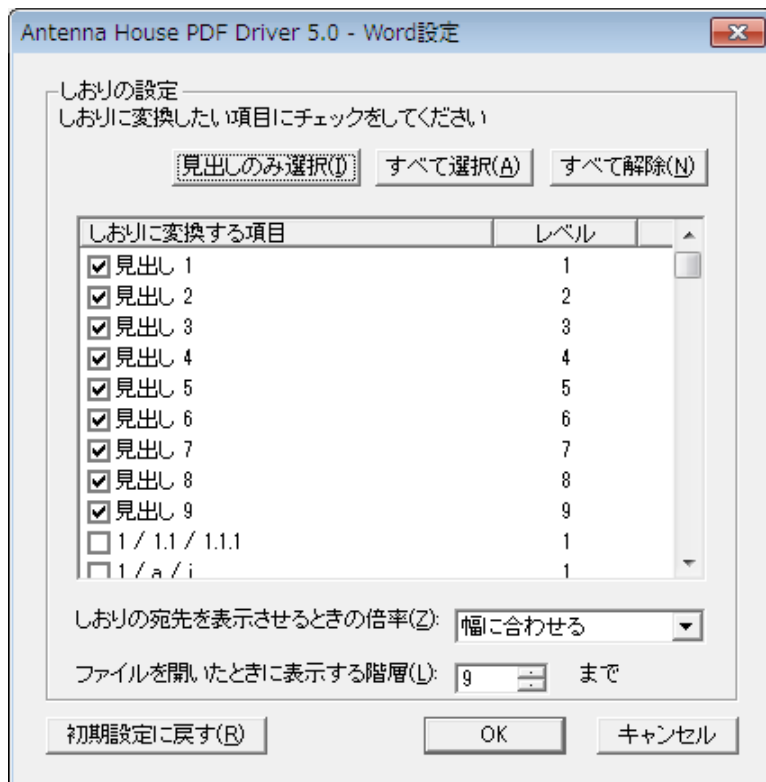
元文書の文書情報を使用する：

文書の「プロパティ」に設定されている内容を文書情報として設定します。このオプションが選択されている場合は、PDF Driver の「情報」タブで設定されている値は反映されません。

- 「初期設定に戻す」ボタン
「Microsoft Word からの出力の設定」の設定状態を「Antenna House PDF Driver」インストール直後の状態に戻します。
- 「PDF 変換」ボタン
このダイアログの設定を記憶して、その設定で PDF 変換を行います。

- しおりの設定

ここでは、Word のスタイル（以下ダイアログの「しおりに変換する項目」に該当します）を PDF のしおりに反映させるにあたり、どのスタイルを PDF のしおりに反映させるか設定します。



見出しのみ選択：

「見出し」という名前のスタイルすべてが、しおりへの変換対象として選択されます。

すべて選択：

変換元文書のスタイルすべてが、しおりへの変換対象として選択されます。

すべて解除：

しおりに変換する項目のチェックをすべて解除します。

しおりの宛先を表示させるときの倍率：

しおりをクリックした際の宛先（表示されるページ）の表示倍率を設定します。

ファイルを開いたときに表示する階層：

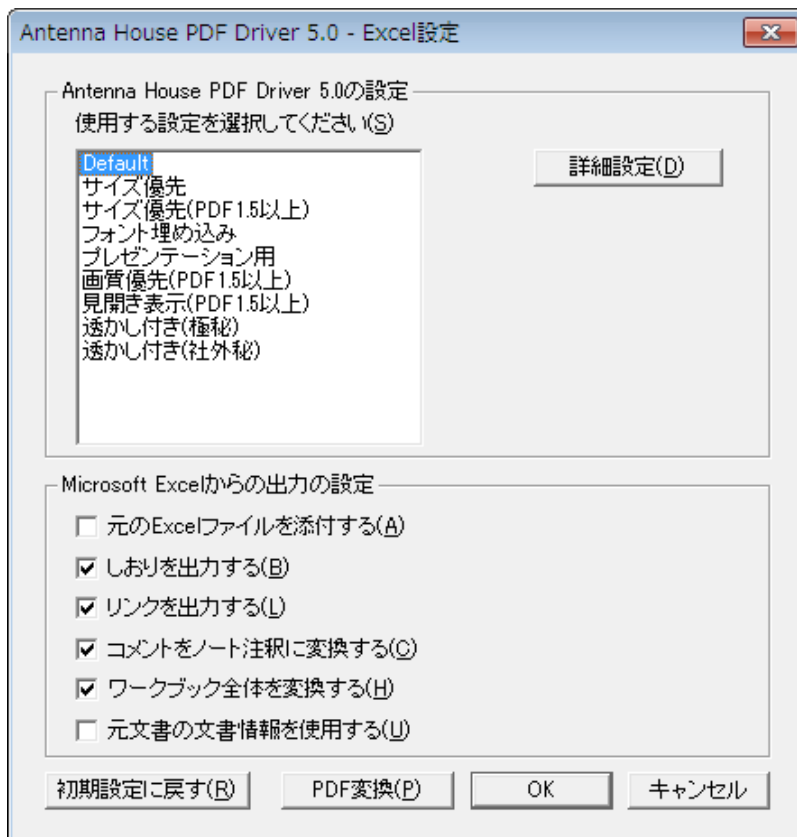
PDF を開いたときに展開して表示されるしおりの階層を設定します。ここで選択した数値（1～9）の階層までのしおりが、展開した状態で表示されます。

スタイルごとに個別に設定したいときには、リスト内の「しおりに変換する項目」の先頭にあるチェックボックスの選択・解除を行ってください。

「初期設定に戻す」ボタン：

「しおりの設定」の設定状態を「Antenna House PDF Driver」インストール直後の状態に戻します。

5.3.2. Excel の設定



- Microsoft Excel からの出力の設定

元の Excel ファイルを添付する：

変換元の Excel ファイルが添付ファイルとして、PDF ファイルに添付されます。

しおりを出力する：

Excel のワークシート名が、Acrobat のしおりに変換されます。

リンクを出力する：

変換元文書で使用されているハイパーリンク（外部ファイルへのリンク、ウェブページへのリンク、ドキュメント内のリンク、電子メールアドレス）が、PDF ファイルに反映されます。

コメントをノート注釈に変換する：

変換元文書で使用されているコメントがノート注釈として PDF ファイルに反映されます。また、Excel のワークシート上で開いた状態にあるコメントは、PDF 上でも開いた状態で作成します。

ワークブック全体を変換する：

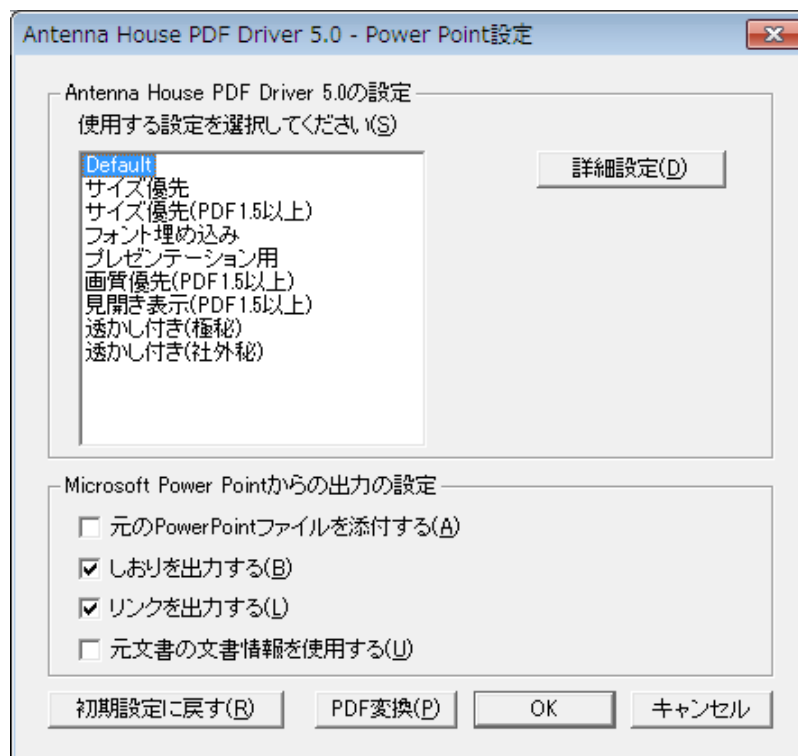
文書内のすべてのワークシートを PDF ファイルに出力します。このオプションを選択しない場合は、現在開いているワークシートのみが PDF ファイルに出力されます。

元文書の文書情報を使用する：

文書の「プロパティ」に設定されている内容を文書情報として設定します。このオプションが選択されている場合は、PDF Driver の「情報」タブで設定されている値は反映されません。

- 「初期設定に戻す」ボタン：
「Microsoft Excel からの出力の設定」の設定状態を「Antenna House PDF Driver」インストール直後の状態に戻します。
- 「PDF 変換」ボタン：
このダイアログの設定を記憶して、その設定で PDF 変換を行います。

5.3.3. PowerPoint の設定



- Microsoft PowerPoint からの出力の設定
 - 元の PowerPoint ファイルを添付する：
変換元の PowerPoint ファイルが添付ファイルとして、PDF ファイルに添付されます。
 - しおりを出力する：
PowerPoint のタイトルが、Acrobat のしおりに変換されます。
 - リンクを出力する：
変換元文書で使用されているハイパーリンク（外部ファイルへのリンク、ウェブページへのリンク、ドキュメント内のリンク、電子メールアドレス）が、PDF ファイルに反映されます。
 - 元文書の文書情報を使用する：
文書の「プロパティ」に設定されている内容を文書情報として設定します。このオプションが選択されている場合は、PDF Driver の「情報」タブで設定されている値は反映されません。
- 「初期設定に戻す」ボタン
 - 「Microsoft PowerPoint からの出力の設定」の設定状態を「Antenna House PDF Driver」インストール直後の状態に戻します。
- 「PDF 変換」ボタン
 - このダイアログの設定を記憶して、その設定で PDF 変換を行います。

5.4. アドインの制限事項について

- 以下のようなハイパーリンクを含む変換元文書を PDF 出力すると、ハイパーリンクの指定範囲 (= リンク枠の位置) が不正になることがあります。
 - ・ 改行を含む文字列にハイパーリンクの指定がある場合
 - ・ 縦書き文書内でハイパーリンクを指定した場合
 - ・ ハイパーリンクを付加した Word アートや図形に「折り返しの種類と配置」機能等を加えた場合
 - ・ HTML のブラウザでの表示結果を Word に貼付した場合
 - ・ Word 文書内の画像やオートシェイプに設定されたハイパーリンクまた、文書内を移動するリンク以外のハイパーリンクについては、リンク情報が正しく出力されない場合があります。
- Excel で、解像度 (印刷品質) の変更を行った場合、出力される PDF ファイルの結果が印刷レビューと異なり、行やページが増減する場合があります。
- Excel ファイルの各シートにおいて、「ページ設定」「印刷品質」の「解像度」の値が設定されていない場合、あるいは値が異なる場合、「ワークブック全体を変換する」ではひとつの PDF ファイルに出力されません。
- Excel ファイルのシートにおいて印刷範囲が設定されている場合は、リンクの出力やコメントの注釈を作成することができません。該当するファイルの場合は、アドイン変換開始時に警告メッセージが表示されます。
- Excel ファイルのシートにおいてヘッダに印刷タイトルとして「行」「列」タイトルが指定されている場合、リンクの出力やコメントの注釈を作成することができません。該当するファイルの場合は、アドイン変換開始時に警告メッセージが表示されます。
- Excel ファイルにおいて保護シートが存在する場合は、リンクの出力やコメントの注釈を作成することができません。該当するファイルの場合は、アドイン変換開始時に警告メッセージが表示されます。
- 変換対象の Excel ファイルにダイアログシートが含まれている場合、ダイアログシートより後ろのシートに対しては、しおりやリンクの出力、コメントの注釈の作成はできません。該当するファイルの場合は、アドイン変換開始時に警告メッセージが表示されます。

6. PDF/A-1b について

本製品は、ISO 19005-1:2005 に一部準拠した仕様である「PDF/A-1b:2005」に対応しております。
ISO 19005-1:2005 に完全準拠した仕様である「PDF/A-1a:2005」との違いは以下の通りです。

	PDF/A-1a:2005	PDF/A-1b:2005
フォントはすべて埋め込まなければならない		
タグ付けされていないといけない		x
XMP 準拠のメタデータを含んでいなければならない		
暗号化してはならない		
LZW 圧縮してはならない		
透明な画像を含んではならない		
外部コンテンツを参照してはならない		
JavaScript を含んではならない		

7. 商標と著作権情報

本文中の記述は、特に表記がない限り、Microsoft Windows XP Professional および Microsoft Office System 2003 での操作手順を記載しています。環境によって画面や操作手順が異なる場合があります。

Copyright (c) 2010-2012 Antenna House, Inc.

7.1. 商標

Adobe、Acrobat、および Reader は、アドビ システムズ社の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

Microsoft、Windows、OpenType は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

TrueType は米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。

その他記載されている全ての会社名および製品名は、個々の所有者の登録商標または商標です。

7.2. 著作権

This product includes software developed by Independent JPEG Group(<http://www.ijg.org/>).

Copyright (c) 1991-1998 Thomas G. Lane.

This product includes software developed by Sam Leffler and Silicon Graphics, Inc (<http://www.libtiff.org/>).

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler

Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

This product includes software developed by Jean-loup Gailly and Mark Adler (<http://www.gzip.org/zlib/>).

Copyright (C) 1995-2002 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This product includes software developed by Glenn Randers-Pehrson and many other contributors (<http://www.libpng.org/pub/png/>).

Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson

Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson

Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger

Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

This product includes altered version by Antenna House, Inc.

This product includes softwares developed by:

International Business Machines Corporation

International Components for Unicode (ICU) libraries <http://www.icu-project.org/>

Copyright (c) 1995-2010 International Business Machines Corporation and others All rights reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including

without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, provided that the above copyright notice(s) and this permission notice appear in all copies of the Software and that both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in supporting documentation.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

This product includes softwares developed by:

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg.

This product includes softwares developed by:

Little cms <http://www.littlecms.com/>

LittleCMS 1.13 Copyright (C) 1998-2004 by Marti Maria

This product includes softwares developed by:

Image Power, Inc. and many other contributors.

<http://www.ece.uvic.ca/~mdadams/jasper/>

JasPer 1.701

Copyright (c) 1999-2000 Image Power, Inc.

Copyright (c) 1999-2000 The University of British Columbia

Copyright (c) 2001-2003 Michael David Adams

This product includes softwares developed by:

The Code Project <http://www.codeproject.com/cpp/yard-tokenizer.asp>

A Regular Expression Tokenizer using the YARD Parser

distributed under the Boost Software License, Version 1.0.

(http://www.boost.org/LICENSE_1_0.txt)

Copyright 2004 by Christopher Diggins

Everything else Copyright (c) CodeProject, 1999-2009

